

東京医科歯科大学 一般 前期

平成 23 年度入学者選抜個別(第 2 次)学力検査問題

数 学

(医 学 科)

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は、全部で 8 ページあります。
3. 解答用紙は、問題冊子と別に印刷されているので、誤らないように注意しなさい。
4. 解答用紙には、必ず解答の過程と結果を記入しなさい。
5. 解答は、必ず解答用紙の点線より左に記入しなさい。
6. 下書は、各問題の余白を利用し、なお不足する場合は、問題冊子の第 1 ページの表裏と第 4 ページの裏から第 8 ページの裏まで使用しなさい。ただし、切り離してはいけません。
7. 各解答用紙には、受験番号欄が 2 カ所ずつあります。それぞれ記入を忘れないこと。
8. 解答用紙は、記入の有無にかかわらず、机上に置き、持ち帰ってはいけません。この冊子は持ち帰りなさい。
9. 落丁または印刷の不鮮明な箇所があれば申し出なさい。

下 書 用 紙 (切り取ってはいけない)

1 ある硬貨を投げたとき、表と裏がそれぞれ確率 $\frac{1}{2}$ で出るとする。この硬貨を投げる操作を繰り返し行い、3回続けて表が出たときこの操作を終了する。自然数 n に対し、

操作がちょうど n 回目で終了となる確率を P_n

操作が n 回以上繰り返される確率を Q_n

とする。このとき以下の各問いに答えよ。

(1) P_3, P_4, P_5, P_6, P_7 をそれぞれ求めよ。

(2) Q_6, Q_7 をそれぞれ求めよ。

(3) $n \geq 5$ のとき、 $Q_n - Q_{n-1}$ を Q_{n-4} を用いて表せ。

(4) $n \geq 4$ のとき、 $Q_n < \left(\frac{3}{4}\right)^{\frac{n-3}{4}}$ が成り立つことを示せ。

2 座標平面において、原点を O とし、次のような 3 点 P , Q , R を考える。

- (a) 点 P は x 軸上にあり、その x 座標は正である。
- (b) 点 Q は第 1 象限にあつて、 $OQ = QP = 1$ を満たす。
- (c) 点 R は第 1 象限にあつて、 $OR + RP = 2$ を満たし、かつ線分 RP が x 軸に垂直となる。

ただし、座標軸は第 1 象限に含めないものとする。このとき以下の各問いに答えよ。

- (1) 上の条件を満たす 2 点 Q , R が存在するような、点 P の x 座標が取りうる値の範囲を求めよ。
- (2) (1)の範囲を点 P が動くとき、線分 QR が通過する領域を図示し、その面積を求めよ。
- (3) 線分 OP の中点を M とする。(1)の範囲を点 P が動くとき、四角形 $MPRQ$ の面積を最大にする点 P の x 座標を求めよ。

3 自然数 n に対し

$$S_n = \int_0^1 \frac{1 - (-x)^n}{1+x} dx$$

$$T_n = \sum_{k=1}^n \frac{(-1)^{k-1}}{k(k+1)}$$

とおく。このとき以下の各問いに答えよ。

(1) 次の不等式を示せ。

$$\left| S_n - \int_0^1 \frac{1}{1+x} dx \right| \leq \frac{1}{n+1}$$

(2) $T_n - 2S_n$ を n を用いて表せ。

(3) 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} T_n$ を求めよ。

下 書 用 紙 (切り取ってはいけない)

下 書 用 紙 (切り取ってはいけない)

下 書 用 紙 (切り取ってはいけない)

下 書 用 紙 (切り取ってはいけない)

東京医科歯科大学 前期

平成 23 年度入学者選抜個別(第 2 次)学力検査
解答用紙

数 学 (その 1)

受 験 番 号				

受 験 番 号				

1

数 学

(その 1)

1 採点欄

--

1 採点欄

--

平成 23 年度入学者選抜個別(第 2 次)学力検査
解答用紙

数 学 (その 2)

受 験 番 号			

受験番号			

2

数 学
(その 2)

2 採点欄

2 採点欄

受 験 番 号			

受験番号			

3

数 学

(その 3)

3 採点欄

3 採点欄